

平成25年度 事務事業評価調査〔ソフト事業〕

事務事業コード 11135008

平成25年度作成

平成24年度
実施事業

事務事業名 放課後子ども教室推進事業

区分	No	名称
章	1	やさしさと共生するまち
節	1	安心して子どもを生み育てられるまちをつくる
施策	1	子育ての不安と負担の軽減
小分類	3	子育て環境の整備
主要な施策	5	⑤児童館、放課後児童クラブなどの充実
事務事業番号	008	事業開始年度 平成 20 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	教育部	グループ名	社会教育グループ
-----	-----	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	放課後に子どもたちが安心して過ごすことができる活動拠点（居場所）を設けることにより、子育て環境の整備を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	<p>小学校の空き教室や体育館を活用して子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て様々な体験活動や交流活動などの取り組みを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○設置地区： 鷲別地区放課後子ども教室（H20年度設置、放課後児童クラブと連携） 幌別東小学校区放課後子ども教室（H23.10月設置） ○管理運営： それぞれの地区において放課後子ども教室実行委員会へ委託。 ○主な活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ・教室での活動： 宿題、カルタ、羽子板、工作、読み聞かせ、自分たちで考えた遊びなど。 ・体育館での活動： バドミントン、大なわとび、ドッジボールなど。 ・行事： 季節行事や児童クラブとの合同行事など。 (もちつき、凧揚げ、流しそうめん、クリスマス会など)
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	放課後に子ども達が安心して過ごすことのできる居場所を一層充実させるために、運営スタッフとなる人材の育成・発掘をテーマとして事業を進める。
根 拠 法 令 等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市放課後子どもプラン運営委員会設置要綱

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区 分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道 支 出 金	名称 放課後子ども教室推進事業費補助金	千円	1,143	1,059	1,170	1,170	1,170
地 方 債	名称	千円					
そ の 他	名称	千円					
一 般 財 源	名称	千円	4,913	2,085	2,121	2,121	2,121
事業費 合計			6,056	3,144	3,291	3,291	3,291

指標の推移

《Check》

区 分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 開設地区	地区	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2			
	② 登録者数	人	目標値	150	200	200	200	200
			実績値	187	159			

比較	《 Check 》
<p>平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録者の増加に伴い、活動スペースが狭隘になりつつある。 ・運営スタッフの確保・育成・発掘が課題である。 	<p>左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動スペース環境については、鷺別小学校の改築時に盛り込む。 ・道主催の研修会への積極的な参加を推奨し、人材育成を図った。

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《 Check 》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である <input type="radio"/> ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である <input type="radio"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である <input type="radio"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	判断理由及びその他所見 青少年の健全育成及び子どもの居場所充実という視点から、行政が積極的に事業を推進すべきものであり、国・道ともに同様の方針である。また、補助事業でもあるため、事業主体は市である必要がある。
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある <input type="radio"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い <input type="radio"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い <input type="radio"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	判断理由及びその他所見 計画的な教室開催としていることで子どもの居場所として定着している。両校ともに全校児童の約半数が登録しており、保護者・子どもともにニーズが高いと考えられる。
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている <input type="radio"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い <input type="radio"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない <input type="radio"/> ④ 将来的に効率性を向上できる	判断理由及びその他所見 補助上限額の設定により必ずしも低予算とは言いがたいが、経費の殆どは安全管理上のものであり削減は難しい。また、補助事業のため事務的に煩雑な点があるが、運営面では地域ボランティアの協力で効果的に事業が実施されている。
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/> ① 成果指標の向上が見られる <input type="radio"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる <input type="radio"/> ③ 目に見える形で成果があがっている <input type="radio"/> ④ 成果の把握は困難である	判断理由及びその他所見 年度途中からの加入も多く、ハード整備を視野に入れた検討が必要な段階にあると考えられる。

①担当グループによる評価 《 Check 》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	事業が定着してきており、今後も地域の方の参画を得て、学校教育を補完する学習活動を推進しながら、放課後における子どもの居場所を確保していくことが必要である。
-----------	----------------------	---

②行政評価会議による評価 《 Check 》

維持	備考	児童館機能との統合の可能性を視野に入れ、関係部署と協議を進め効率的な子育て環境の整備を図ること。
-----------	----	--